



2021年3月29日

ウシオ電機株式会社

株式会社横浜 DeNA ベイスターズ

ウシオ、横浜 DeNA ベイスターズと「スタジアムヘルスケアパートナー契約」を締結
—安心・安全な環境づくりのための協業—

USHIO



ウシオ電機株式会社(本社:東京都、代表取締役社長 内藤 宏治、以下 ウシオ)とプロ野球球団、横浜 DeNA ベイスターズを運営する株式会社横浜 DeNA ベイスターズ(代表取締役社長 岡村 信悟、以下横浜 DeNA ベイスターズ)は2021年3月29日付で「スタジアムヘルスケアパートナー契約」を締結しましたのでお知らせいたします。

■契約締結の理由

「未来は光でおもしろくなる」をコーポレートスローガンとし、様々な市場に光によるソリューションを提供しているウシオは、「安心・安全」をキーワードとしたライフサイエンス分野において現在、抗ウイルス・除菌技術「Care222®」をはじめとした光環境衛生事業に注力しています。

一方、横浜スタジアムを本拠地とする横浜 DeNA ベイスターズは、かねてよりIT等の最新テクノロジーやノウハウを活用した新たな時代の観戦体験を構築し、スポーツ界でも先進的な取り組みを進めています。いかなる環境下においても、ファンの皆様に安心して楽しんでいただくため、さまざまな取り組みを実施しております。

そこで双方で行ってきた取り組みを融合させ、スタジアムで安心して野球をはじめとしたイベントを行なえるような体制を整えること、最終的には双方のブランド価値を向上させていくことを目的に、今回、スタジアムヘルスケアパートナー契約を締結しました。

■スタジアムヘルスケアパートナーとしての取り組み

衛生環境向上、ウイルス対策を目的とし、横浜スタジアムにて選手が使用するロッカールーム(ホーム、ビジター)に Care222[®]搭載製品である「Care222[®] iシリーズ ベーシックタイプ i-BT」を計 30 台設置します。また、導入に伴い必要なデータを収集し、今後のウイルス対策の技術開発に活用してまいります。

なお、選手ロッカールームへの導入を皮切りに、スタジアム各所に Care222[®]搭載製品の導入を検討していき、横浜スタジアムの衛生環境向上、ウイルス対策を進めていきます。



横浜スタジアムの選手ロッカールームに導入される Care222[®] iシリーズ ベーシックタイプ i-BT

■双方からのコメント

ウシオ 代表取締役社長 内藤 宏治

この度、横浜 DeNA ベイスターズ様とスタジアムヘルスケアパートナー契約を締結することができ、大変喜ばしく思っております。

当社は 2030 年ビジョンとして「光のソリューションカンパニーへ」を掲げており、今後社会の「安心・安全」を光で実現する第一歩として、横浜 DeNA ベイスターズの選手・スタッフの皆様および横浜スタジアムにご来場されるプロ野球ファンの皆様へ安心・安全を提供していきたいと思っております。

横浜 DeNA ベイスターズ 代表取締役社長 岡村 信悟

安心安全な環境へのニーズが高まる中、ウシオ電機様と『スタジアムヘルスケアパートナー契約』を締結することとなり、大変嬉しく思います。

まずは選手がより安心してプレーする環境を、そして、今後はファンの皆様が心の底から楽しむことができる環境をウシオ電機様とともにつくっていきたいと考えています。
